VEGA 日本語学校　自己点検・評価実施要項

1．自己点検・評価委員会について

自己点検・評価を適切かつ円滑に行うための組織として自己点検・評価委員会を置く。

（1）委員会の主な取り組み

① 実施方法・評価基準項目を検討する。
② アンケートに回答する。
③ 自己点検・評価報告書を作成する。
④ 結果に基づいて改善案を提案する。
⑤ 結果を公表する。

（2）委員の構成について

校長を委員長とし、経営担当役員、事務長、学生募集担当者及び主任教員により構成し、人数は原則５名とする。

委員は、自己点検・評価アンケートへの回答と委員会への参加が義務付けられており、それぞれの担当の部署の専任教員や非常勤職員、事務職員から聞き取り調査をして、その結果をもとに回答する。

2．自己点検・評価の実施について

（1）実施時期

自己点検・評価を実施する時期は、原則として毎年３月の１回とする。

（2）実施方法

・アンケート内容は、４段階評価と自由回答形式とする。
・委員による自己点検・評価アンケート実施後、委員長が速やかに回収及び集計する。
　自由回答形式の回答は系統に分類し、一覧とする。
・平均化した暫定結果、自由回答の一覧を委員会で検討し、最終結果を決定する。

（3）評価の分類

A：達成されている。
B：ほぼ達成されているが一部不十分なところがあり、改善に向けて取り組んでいる。
C：努力しているが、達成しているとはいえない。
D：達成されていない。
X：該当しない。または評価不能な項目である。

（4）評価の活用・公表

・評価の最終結果は校内研修会などの場で共通理解を図る。
・明らかになった成果と課題をもとに活動の計画、実行、計画、改善を継続的なサイクルとする。
・校長の責任のもと、結果を年１回、４月に本校のホームページで公表する。

VEGA 日本語学校　自己点検・評価アンケート

このアンケートは当校の運営における課題を発見し、改善を行うことを目標としています。
以下のすべての項目について、評価をお願いします。

A：達成されている。
B：ほぼ達成されているが一部不十分なところがあり、改善に向けて取り組んでいる。
C：努力しているが、達成しているとはいえない。
D：達成されていない。
X：該当しない。または評価不能な項目である。

１．理念・教育目標		評価
1-1	〈理念〉 開かれた学校づくり。学生が地域や社会とつながる。 そして、社会全体の幸せにつなげられるようなあたたかい学びの場。	A
1-2	〈教育目標〉 日本社会で自己実現ができるコミュニケーション能力の養成。	B
1-3	〈めざす学生像〉 自分の言葉で自分自身のことを力強く発信できる学生 主体的に社会と関わり、貢献することができる学生	B
1-4	理念・教育目標及びめざす学生像が社会のニーズに合致している。	A
1-5	理念・教育目標及びめざす学生像が、教職員及び学生に周知されている。	A
自由記入欄 　コミュニケーション能力育成のためにカリキュラムや指導方法を工夫しているが、その効果検証とさらなる工夫が必要である。		

２．学校運営		評価
2-1	日本語教育機関の告示基準に適合している。	A
2-2	運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されている。	A
2-3	意思決定が組織的に行われ、かつ、効率的に機能している。	B
2-4	予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確である。	B
2-5	外部からの情報収集が効率的に行われ、共有できる仕組みがある。	B
2-6	学生、入学志願者及び経費支弁者が理解できる言語で情報提供をしている。	A
2-7	授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している。	B
2-8	業務の見直し及び効率的な運営の検討が定期的、組織的に行われている。	B
自由記入欄 　開校初年度であり、予算や運営に関して基盤を固めている段階であるので、これから強固なものにしていきたい。		

３．教育活動		評価
3-1	理念や教育目標に沿ったカリキュラムが体系的に編成されている。	B
3-2	成績評価や進級、修了の判定基準は明確、かつ適切に運用されている。	A
3-3	教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。	A
3-4	教員の能力、経験などを勘案し、適切な教員配置をしている。	B
3-5	教員の指導力向上のための取り組みが行われている。	B

自由記入欄

学生の実態により、カリキュラムを柔軟に変更しなければならない。

教員の指導力向上のために、講師会や研修会を充実させていかなければならない。

４．学修成果		評価
4-1	入学や修了・卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理している。	X
4-2	修了・卒業の判定を適切に行っている。	X
4-3	日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。	X
4-4	卒業または修了後の進路を把握している。	X
4-5	卒業生及び修了生の状況を把握するための取り組みを行い、把握している。	X

自由記入欄

開校初年度であるので、今後、結果を反映させていきたい。

５．学生支援		評価
5-1	日本社会を理解し、適応するための取り組みを行っている。	A
5-2	留学生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施し、また、在籍者全員を対象に定期的に実施している。	A
5-3	住居支援を行っている。	A
5-4	アルバイトに関する指導及び支援を行っている。	A
5-5	健康、衛生面について指導する体制を整えている。	B
5-6	対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて留学生保険に加入している。	A
5-7	重篤な疾病や傷害のあった場合の対応、及び感染発生時の措置を定めている。	A
5-8	危機管理体制を整備している。	A
5-9	火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的に実施している。	B
5-10	気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知している。	B

自由記入欄
生活オリエンテーションを通じて避難場所等を周知しているが、休校措置や補講などについても周知しなければならない。

６．教育環境		評価
6-1	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されている。	B
6-2	授業時間外に自習できる部屋を確保している。	A
6-3	教育及び職員の執務に必要なスペースを確保している。	B
6-4	視覚教材や IT を利用した授業が可能な設備や教育用機器を整備している。	A
自由記入欄 図書室の書籍は今後、さらに充実していく必要がある。		

７．学生募集		評価
7-1	理念・教育目標に沿った学生の受け入れ方針を定め、年間募集計画を策定している。	A
7-2	機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。	A
7-3	教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報が入学希望者の理解できる言語で開示されている。	B
7-4	海外の募集代理人（エージェント等）に最新、かつ、正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している。	B
7-5	入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている。	A
7-6	学生情報の正確な把握、かつ、提出書類による確認を行っている。	A
7-7	受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズに合致することを確認している。	B
自由記入欄　入学前に日本語能力のチェックや面接を行っているが、入学時において能力に開きがある場合があるので、日本語能力のチェックや面接の方法や内容をさらに検討しなければならない。		

８．財務		評価
8-1	財務状況は中長期的に安定している。	A
8-2	予算・収支計画は有効、かつ、妥当なものとなっている。	A
8-3	適正な会計監査が実施されている。	A
自由記入欄		

９．法令遵守		評価
9-1	法令遵守に関する担当者を特定している。	B
9-2	教職員のコンプライアンス意識を高めるための取り組みを行っている。	A
9-3	個人情報保護のための対策を取っている。	B
9-4	関係省庁への届け出、報告を遅滞なく行っている。	A
自由記入欄 個人情報保護に関して、教職員の意識をさらに高める必要がある。		

１０．社会貢献		評価
10-1	日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献を行っている。	B
10-2	学生ボランティア活動への支援を行っている。	B
10-3	公開講座等を実施している。	B
自由記入欄　公開講座等を実施していないので、今後、どのような形で、どのようなことができるか実施できるように検討する。		

2025 年 3 月 31日実施

VEGA日本語学校

校長 稲田 昭二